

連載
Vol.34新卒採用の
肝所ラン・リグ
代表取締役社長
渡辺昇一氏

これまでの日本の社会は、間違いなく終身雇用を前提とした正社員を中心に設計された社会です。しかしこの不確実で激動する時代の中で、これは非常に難易度が高く、「雇う・雇われる」といった企業と社員の関係性は成り立たなくなってきました。

① 近い将来、大部分の仕事はAIに

そんな中で自分の能力を正社員という雇用形態ではない方法で企業に提供するパターンが若者たちを中心に広がっており、そういったニーズに臨機応変に対応することで成果を出している企業も増えてきています。

また、おそらく近い将来、大部分の仕事はAI(人工知能)に取って代わられ、研究機関

によっては現在の労働人口の50%以上がAIなどで代替可能になるとも言われています。それにあわせて、今まで大部分の企業の人材に求められていた、仕事に対する正確性や反復して継続する力、データを処理する力など、AIなどの得意分野に関する仕事や人材のニーズは、急速に縮小していくでしょう。

② 人としての「ポテンシャル」を持った人材を探す

では、これから近い将来到来するAI時代に代えの効かない優秀な人材は、どのような仕事にパフォーマンスを発揮できる人材なのでしょう。

代替できない仕事の特徴としてひらめきやアイデアなど抽象的なものを整理し新しいものを生み出す【クリエイティブ型】、人に対する理解や価値観を土台にした応用が求め

られる【人間関係構築型】、プロセスを標準・見える化しにくく、状況に応じ臨機応変対応が必要な【非マニュアル型】——以上のような特徴のある仕事を担うことができる人材は簡単にいうと業務の「スキルや知識」ではなく、人としての「ポテンシャル」を持った人材です。

AIなどでは代替しにくい、そういった仕事をできる人材を確保することが将来の競争力を形作る上で重要な要素になってくるでしょう。

また、昨今はポテンシャルを備えた若者であればあるほど、自由に主体的に活躍の場を求める傾向が強くなってきているように感じます。そういった若者に出会うために、凝り固まった常識にとらわれず、企業側の意識を変化対応させていく必要があります。

企業と社員の関係性の変化・求められる仕事や人材像の変化

ラン・リグ(東京都渋谷区)とは

「地域ダントツ化コンサルティング」を事業コンセプトに、地域密着ビジネスに特化した集客・営業・人材支援事業を手掛ける。設立11年で延べ350社、リフォーム・工務店・不動産・医療・大学・専門学校・学習塾・健康施設などクライアントは幅広い。

渡辺昇一社長は、15年間延べ8500人以上の新卒大学生の就職支援に関わった経験を生かし、さまざまな業種の地域ビジネスで培った横断的なノウハウを提供している。